

令和7年度 校内研究の概要	
研究主題	「ゴール」を見据えてチャレンジし続ける生徒の育成（2年次） ～学びの主体性と自己調整力に着目して～
研究主題設定の理由	本校の教育目標は「変化する時代を生きぬく、優しさと逞しさを持つ生徒の育成」である。その目標に向け、「自他を尊重し、主体的に考え、行動できる生徒（＝優しさ）」、「学びを生かし、夢や目標に向かって挑戦する生徒（＝逞しさ）」を目指す生徒像として捉え直し、本主題を設定した。 昨年度は、「生徒が明確なゴールを描けるような課題設定の工夫」、「主体的・対話的で深い学びの工夫」、「振り返りの工夫」の3点を研究の柱として設定し、それに基づいて研究を進めた。中でも「主体的・対話的で深い学びの工夫」に重点を置き、ICT機器を活用しながら研究テーマに迫った。昨年度12月に実施した生徒用の学習アンケートにおいて、授業でICT機器を活用することで「たくさんの考えに触れることができた」「分かりやすく表現することができた」という記述がみられた。 このことから、ICT機器の活用は、多様な考えの共有や自分の考えを伝えるのに有効であり、さらに、考えを深めたり再構築したりする機会につながるということがわかった。また、教員が年間を通して、ICT機器の活用方法を学ぶ機会を設けたことで、具体的にどのように授業実践につなげることができるか、どのようにドリルソフトを使用していけば効果的かを考える機会となった。一方、生徒用の学習アンケートにおいて、授業の課題と単元課題を意識しながら授業に臨むこと、振り返りから自分の学びを見直すことに対する認識が低いことが分かった。これに対し、教員用の学習アンケートでは、同じ項目への評価が生徒よりもやや高く、生徒と教員の認識に一定の差があることが明らかになった。こうした実態を踏まえ、「ゴールを見据えてチャレンジし続ける」ためには、生徒と教員が単元を通して身につけた力を共有し、その成長について共に振り返ることが重要である。特に、「チャレンジし続ける」には、生徒自身が自分なりに問いを持ち、その問いに向かって自分の考えを深め、次の問いへとつながっていく必要がある。 以上のことから、本年度は、「問いを引き出す学習課題設定の工夫」、「伝える力を育む学び合いの工夫」、「自己調整力を育む単元計画の工夫」の3点を重点としたい。生徒自身の問いのもと、見通しを持って学びに向かい、仲間との学び合いを通して自分の考えをより深め表現することで、自身の考えが再構築し続ける姿を目指して本研究を進めていきたい。
研究の目標	① 自らの問いを解決するために基礎情報を集めることのできる力、知っている知識を関連付けて活用できる力を育成する。 ② 根拠を明確にして自分の考えを伝える力、人とかかわりを通して自分の考えを再構築する力を育成する。 ③ 自らの問いに向かって見通しをもち、学びを振り返ることで次の学びへつなげる力を育成する。

研究の内容	(1) 問いを引き出す学習課題設定の工夫 ① 「知りたい」「調べたい」きっかけとなる単元・学習課題を設定する。 ② 生徒が課題解決に必要な情報を集め整理する場面を設定する。 ③ 整理した情報をもとに、自分の考えを伝え合うことで、次の問いへのきっかけをつくる。 (2) 伝える力を育む学び合いの工夫 ① 根拠や思考過程を可視化しながら、一人ひとりが自分の考えを深める場面を設定する。 ② 他者の考えに触れることで視野を広げ、自分の考えを更に深めるため、個人と集団での学びを行き来できるようにする。 (3) 自己調整力を育む単元計画の工夫 ① 単元目標と、単元における資質・能力を生徒と共有し、学びへの見通しをもつ。 ② 評価規準をもとに、生徒が次の学びへとつながるよう評価から改善への過程を適宜行う。																												
研究の方法	① 定期的に、または必要に応じて研究推進委員会を開き、検討、調整、確認を行う。また、全職員の共通理解および学年部会等で生徒理解を図る。 ② 定期的に教科部会を開き、教科の研究テーマ・単元計画等を検討し、授業研究を積み重ねる。(教科部会における事前および事後研究の充実化) ③ ICT 機器の利活用に関する研修会の充実を図る。(夏季休業中の講習会、ICT 支援員による講習) ④ 校内授業研究会を 2 回実施し、事前・事後研究会での学びを通し、授業改善を図る。 ⑤ 各教科で育成を目指す資質・能力を明確にし、単元計画の充実を図る。																												
研究の計画	<table><tr><td>4 月</td><td>・校内研修会① (研究の概要について)</td><td>～11 月</td><td>・研究会で授業提供がない教科の授業実践</td></tr><tr><td>5 月</td><td>・校内研修会② (授業づくりの視点について)</td><td>1 月</td><td>・教科部会にて、校内研究のまとめ</td></tr><tr><td>6 月</td><td>・教科部会</td><td>2 月</td><td>・研究推進委員会にて今年度の成果と課題のまとめ</td></tr><tr><td>7 月</td><td>・第 1 回校内授業研究会</td><td>3 月</td><td>・研究紀要によるまとめ</td></tr><tr><td>8 月</td><td>・ICT 研修会</td><td></td><td>・来年度に向けて検討</td></tr><tr><td>9 月</td><td>・教科部会</td><td></td><td></td></tr><tr><td>10 月</td><td>・第 2 回校内授業研究会</td><td></td><td></td></tr></table>	4 月	・校内研修会① (研究の概要について)	～11 月	・研究会で授業提供がない教科の授業実践	5 月	・校内研修会② (授業づくりの視点について)	1 月	・教科部会にて、校内研究のまとめ	6 月	・教科部会	2 月	・研究推進委員会にて今年度の成果と課題のまとめ	7 月	・第 1 回校内授業研究会	3 月	・研究紀要によるまとめ	8 月	・ICT 研修会		・来年度に向けて検討	9 月	・教科部会			10 月	・第 2 回校内授業研究会		
4 月	・校内研修会① (研究の概要について)	～11 月	・研究会で授業提供がない教科の授業実践																										
5 月	・校内研修会② (授業づくりの視点について)	1 月	・教科部会にて、校内研究のまとめ																										
6 月	・教科部会	2 月	・研究推進委員会にて今年度の成果と課題のまとめ																										
7 月	・第 1 回校内授業研究会	3 月	・研究紀要によるまとめ																										
8 月	・ICT 研修会		・来年度に向けて検討																										
9 月	・教科部会																												
10 月	・第 2 回校内授業研究会																												